

大阪府域図書館 児童およびYAサービスにおける広報に関する実態調査報告

「はらっぱ No.36」を作成するにあたり、府域市町村の現状を把握するため、実態調査を実施した。お忙しい中、ご担当の方々には多大なご協力をいただき、誠にありがとうございました。

調査概要

- ・調査対象：大阪府域市町村図書館および公民館図書室（複数館ある場合は主に中心館について）
- ・調査時期：令和4年12月
- ・回収率：100%（43市町村）

※数字は同様の回答があった市町村数

今回調査の【広報】とは、図書館内で開催しているこども向けおよび（中高生をメインターゲットとする）YA向けのイベントや図書館サービスのPRなどを対象とした。なお、令和4年度実績での回答とし、実情を把握するために、1回限りの外部との連携や補助金等による一時的なイベント等の事例は省くか、その他に記入することを基本とした。

<設問>

問1. イベントや休館等の広報はどの媒体で行っていますか。こども向けとYA向けについて、それぞれお答えください。【複数回答可】

問2. チラシやポスターに関して教えてください。

問2-1. チラシやポスターの主な仕様について教えてください。「特別な場合はカラー印刷」などはその他にお書きください。【複数回答可】

問2-2. チラシおよびポスターの配布先について教えてください。【複数回答可】

問3. 自治体広報誌での広報について教えてください。

問4. 活用しているHP（ホームページ）について

問4-1. HPのコンテンツやページ等について教えてください。【複数回答可】

問4-2. 工夫していることはありますか。【複数回答可】

問4-3. どの機器に対応していますか。【複数回答可】

問5. SNSの活用について

問5-1. こども向けもしくはYA向けイベントの広報に使用しているものについて、それぞれお答えください。【複数回答可】

問5-2. SNSの発信担当について、それぞれお答えください。

問6. 今後、広報として活用を考えている媒体、新しい手段等があれば教えてください。（自由記述）

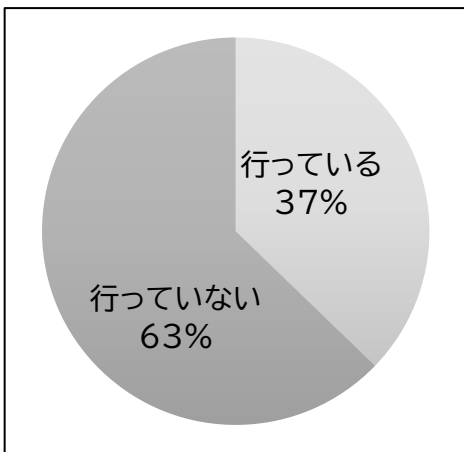
※各設問はチェックボックスでの選択方式とし、自由記述はその他を選択した場合での詳細と問6のみとした。自由記述はほぼ記載ママで掲載した。

※問5までの設問は、こども向けとYA向け両方についてほぼ同じ選択肢で回答を求めた。

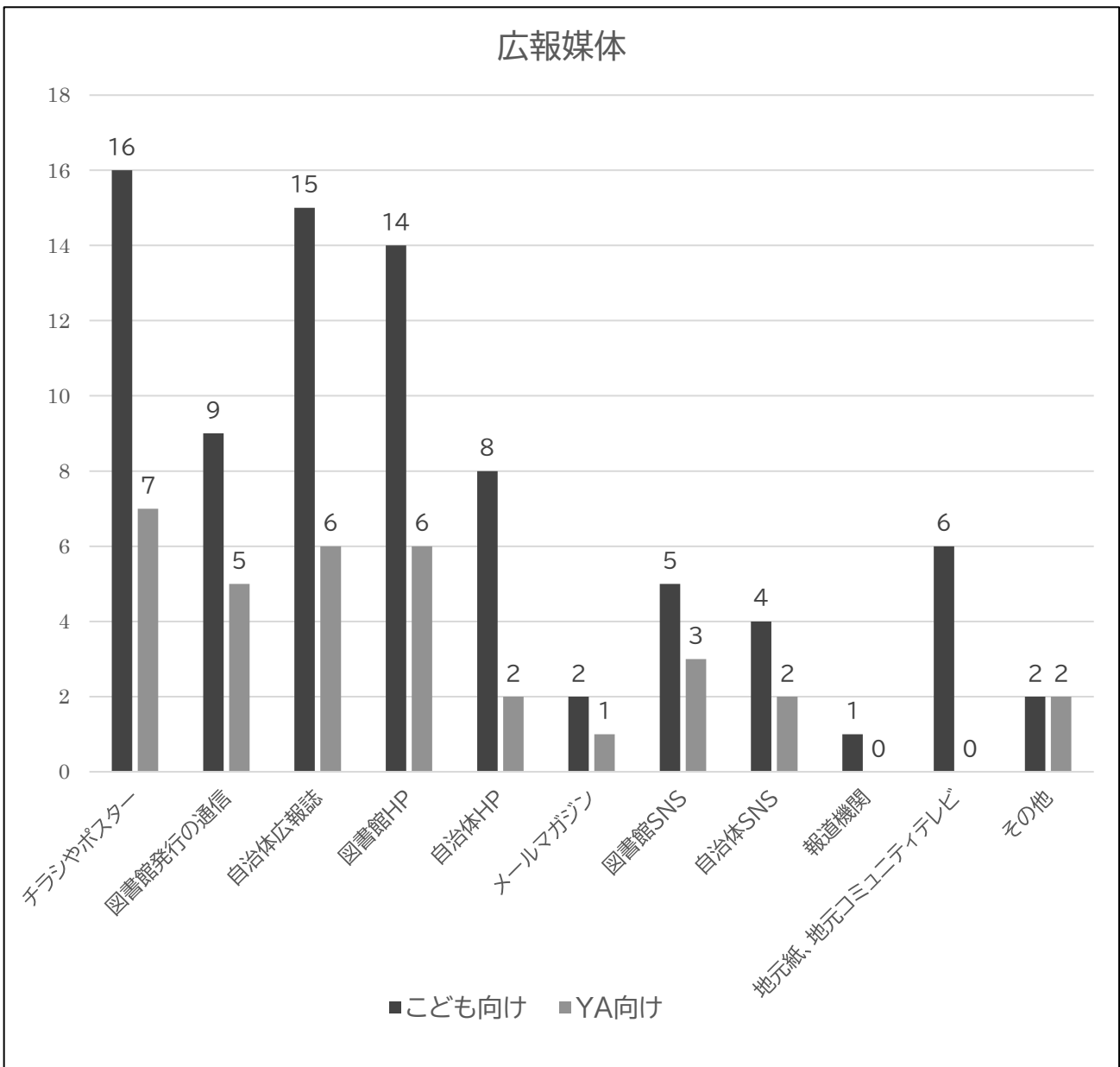
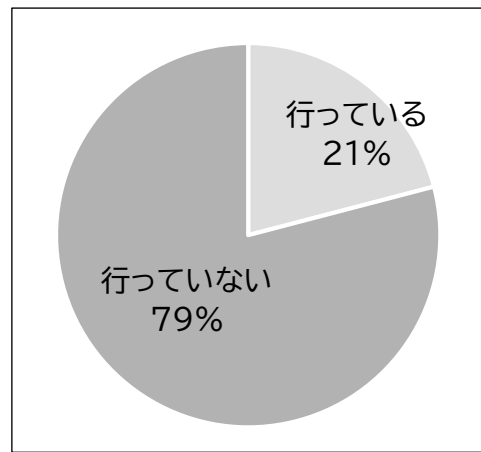
問1. イベントや休館等の広報はどの媒体で行っていますか。こども向けとYA向けについて、それぞれお答えください。【複数回答可】

		こども向け	YA向け
対象別のイベント	行っている	16	9
	行っていない (個別では作成していない)	27	34
	理由	人手不足	人手不足 コロナのため休止 YA コーナーは新館開設と同時に新規開設予定
広報媒体	チラシやポスター	16	7
	図書館発行の通信	9	5
	自治体広報誌	15	6
	図書館 HP	14	6
	自治体 HP	8	2
	メールマガジン	2	1
	図書館 SNS	5	3
	自治体 SNS	4	2
	報道機関	1	0
	地元紙、地元コミュニティテレビ	6	0
	その他	2	2
		(記載ママ) 自治体 HP 内に図書館所管ページあり チラシやポスター以外は、特段こども向けに作成していない 地元コミュニティ誌 人形劇団クラルテ おひさま劇場 自然体験	(記載ママ) 自治体 HP 内に図書館所管ページあり ティーンズコーナーで企画展示 中学生向けの夏の図書リストに利用案内や休館日のカレンダー

《こども向けの広報》



《YA向けの広報》



問2. チラシやポスターに関して教えてください。

問2-1. チラシやポスターの主な仕様について教えてください。「特別な場合はカラー印刷」などはその他にお書きください。【複数回答可】

	白黒	カラー	館内印刷	外注	総ルビ	一部ルビ	ルビなし	その他
こども向け	26	30	37	5	14	26	3	15
YA向け	17	17	22	4	2	7	12	7

その他：

チラシは白黒、ポスターはカラーという回答がほとんどであった

通常は色上質紙に白黒印刷、特別な場合はカラー印刷

外部講師を招く講演会向けチラシは外注、館内ポスターはカラー印刷

こども向け

なるべく字が込み入った感じにならないよう工夫

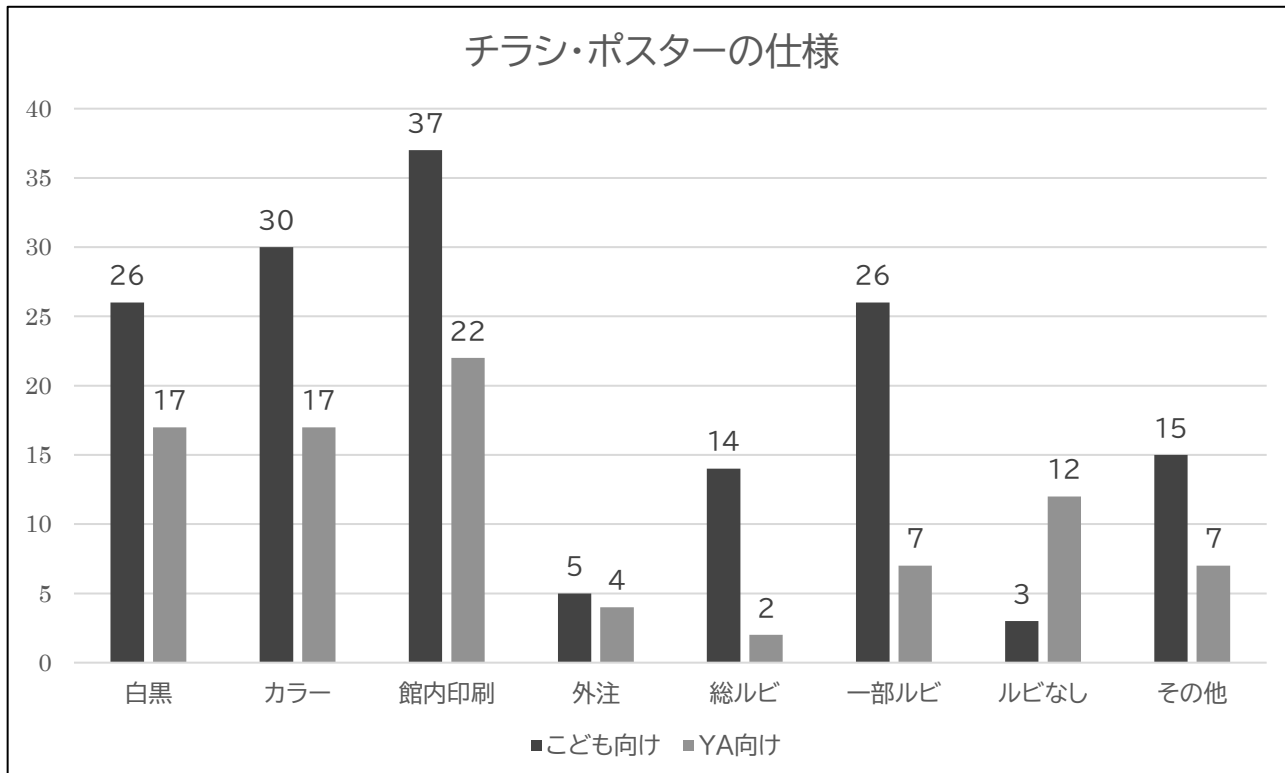
イラスト等を入れる

ポスターは色画用紙などを使って職員が手作りする

YA向け

イラストや表紙画像等を入れる

作成実績なし



問2-2. チラシおよびポスターの配布先について教えてください。【複数回答可】

こども向け							
館内	幼稚園	小学校	支援学校	その他の学校	HPからダウンロード可	関係機関	その他
39	17	24	4	15	11	14	8

その他の学校：保育園、こども園、子育てサロン・サークル、留守家庭児童育成室、保健センター、中学校

関係機関：庁内関係部署、市民センター、児童会館・児童センター、地域家庭文庫、子育て支援関連部署
市内コミュニティセンター、近隣商業施設、子育て支援センター・男女共生センター、保健センター、公民館・青少年センター等の公共施設 など

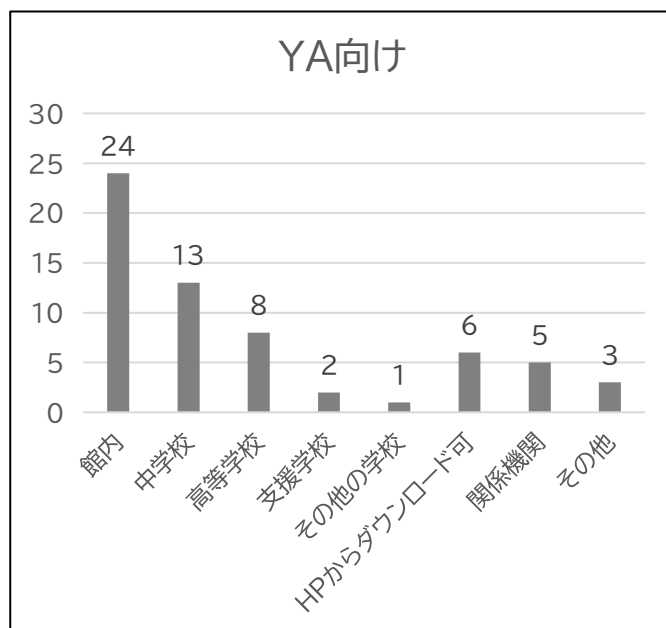
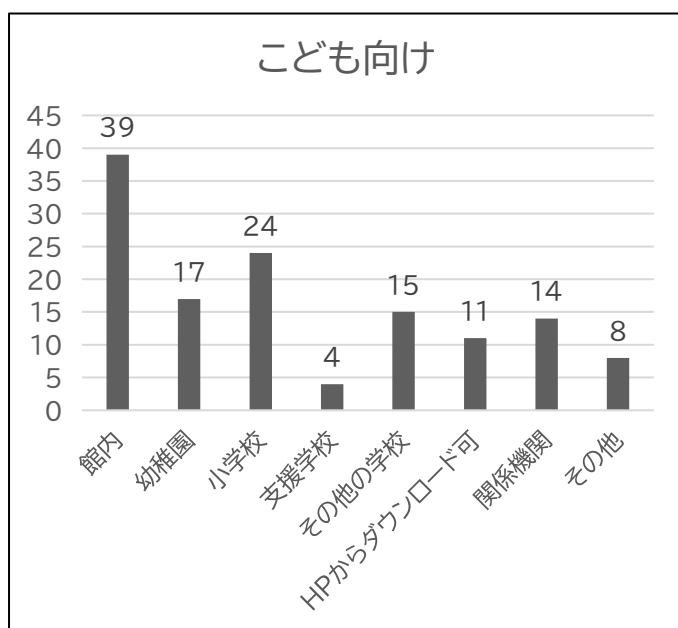
その他：行事や内容によって異なる、新聞社、ラジオ局、つどいのひろば（地域の子育て支援の拠点）
自動車文庫、公民館図書室、集客数を確保したい特定の行事のみ

YA向け							
館内	中学校	高等学校	支援学校	その他の学校	HPからダウンロード可	関係機関	その他
24	13	8	2	1	6	5	3

その他の学校：小学校

関係機関：庁内関係部署、市民センター、児童会館・児童センター、地域家庭文庫、市内コミュニティセンター、近隣商業施設、青少年センター等の公共施設 など

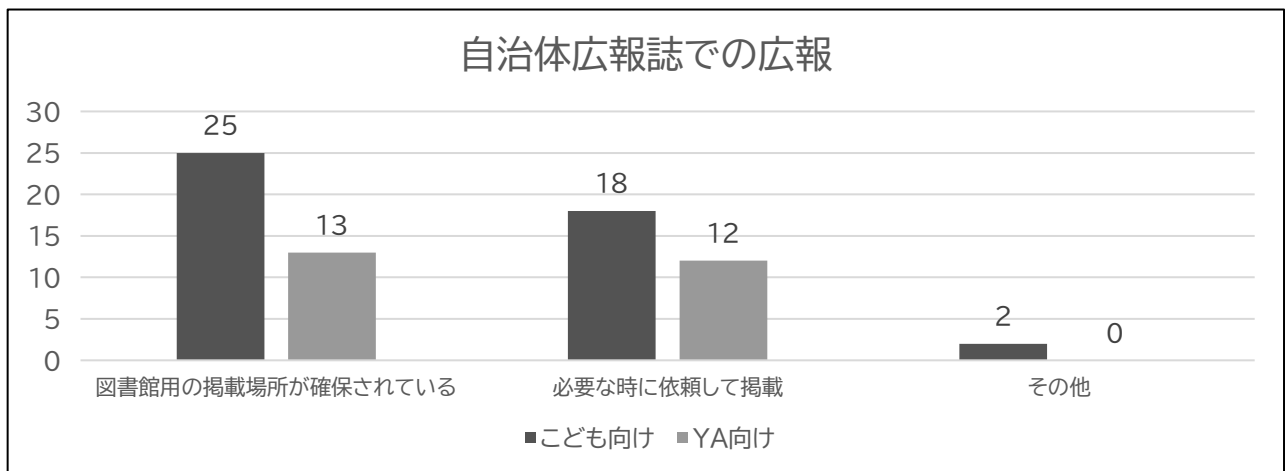
その他：地下鉄の駅、古本屋、新聞社、ラジオ局、自動車文庫、公民館図書室



問3. 自治体広報誌での広報について教えてください。

	図書館用の掲載場所 が確保されている	必要な時に依頼して 掲載	その他
こども向け	25	18	2
YA向け	13	12	0

その他：図書館用の掲載場所は確保されているが、特にこども向けではない

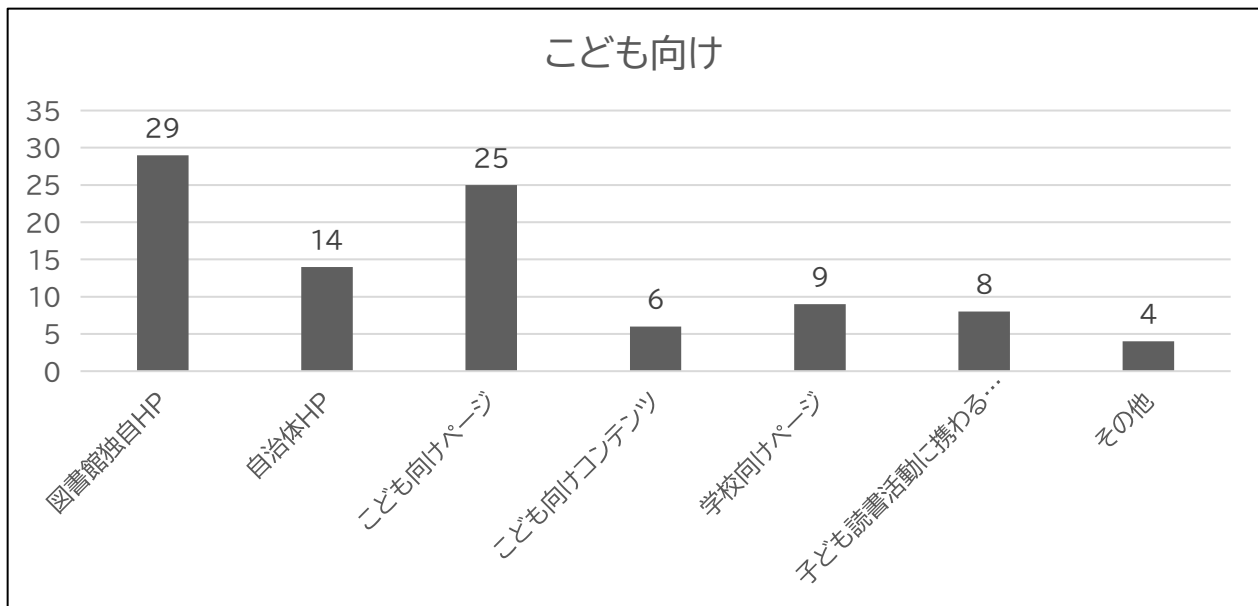


問4. 活用しているHP（ホームページ）について

問4-1. HPのコンテンツやページ等について教えてください。【複数回答可】

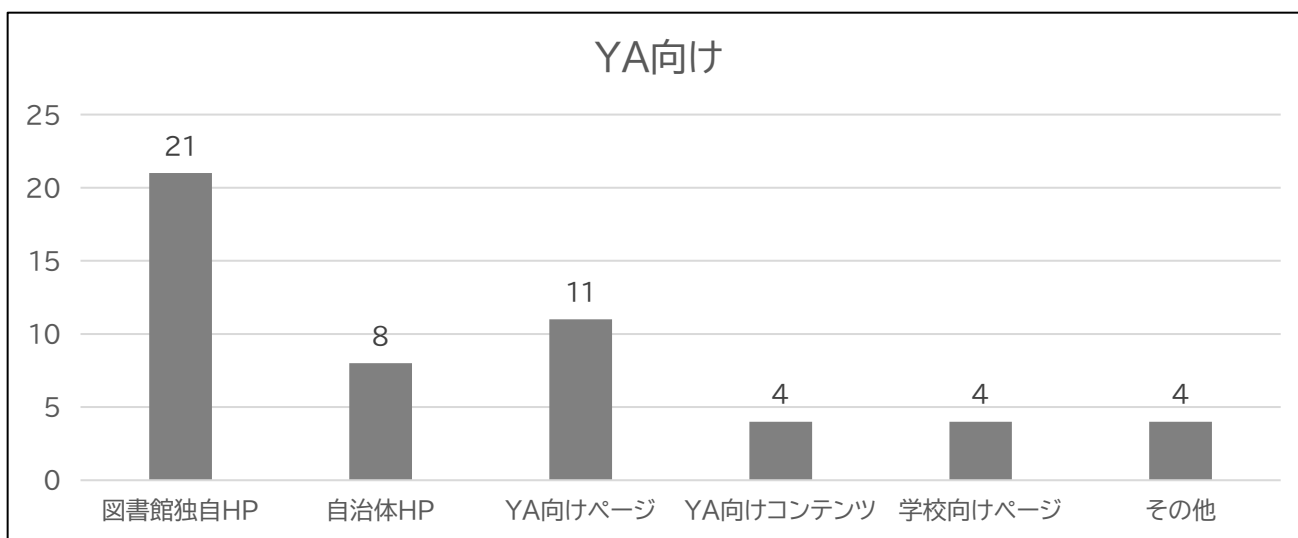
こども向け						
図書館独自 HP	自治体HP	こども向け ページ	こども向け コンテンツ	学校向け ページ	子ども読書活 動に携わる人 向けページ	その他
29	14	25	6	9	8	4

その他：学校向けのページは学級貸出やブック便について、資料検索のみ図書館のHPにて対応
WebOPACのテーマ検索に就学前児童向け図書リストを掲載、掲載内容があれば適宜掲載する



YA向け					
図書館独自HP	自治体HP	YA向けページ	YA向けコンテンツ	学校向けページ	その他
21	8	11	4	4	4

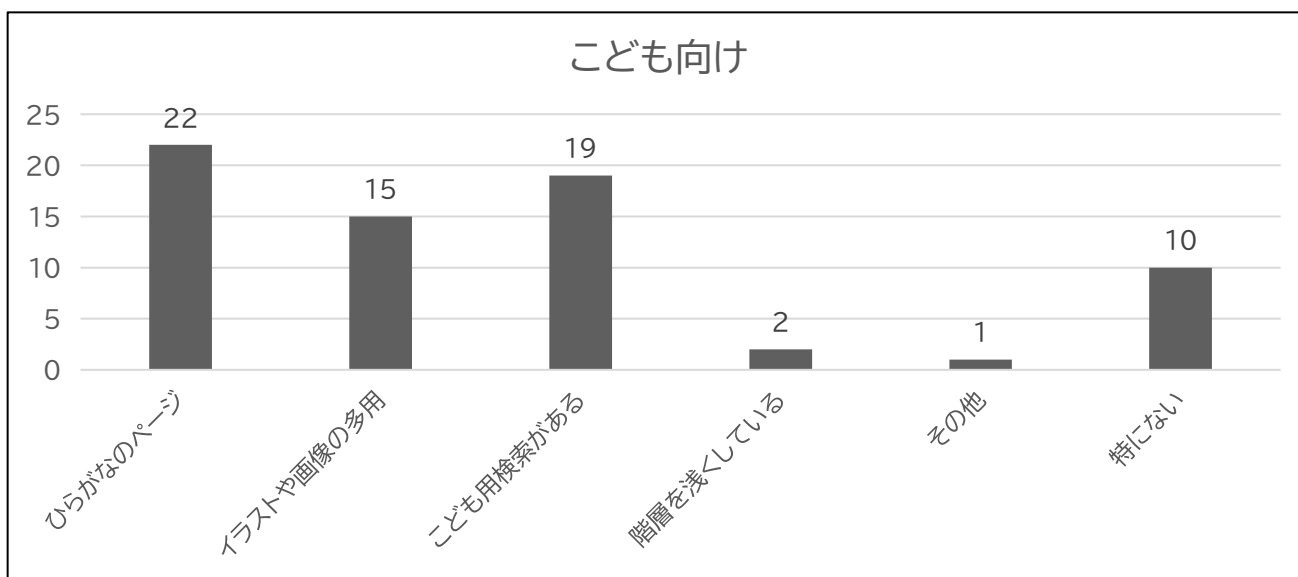
その他：Y.A用特集コーナー等、YA向けとして単独では掲載していない、WebOPACのテーマ検索にYA向け図書リストを掲載、掲載内容があれば適宜掲載する



問4-2.工夫していることはありますか。【複数回答可】

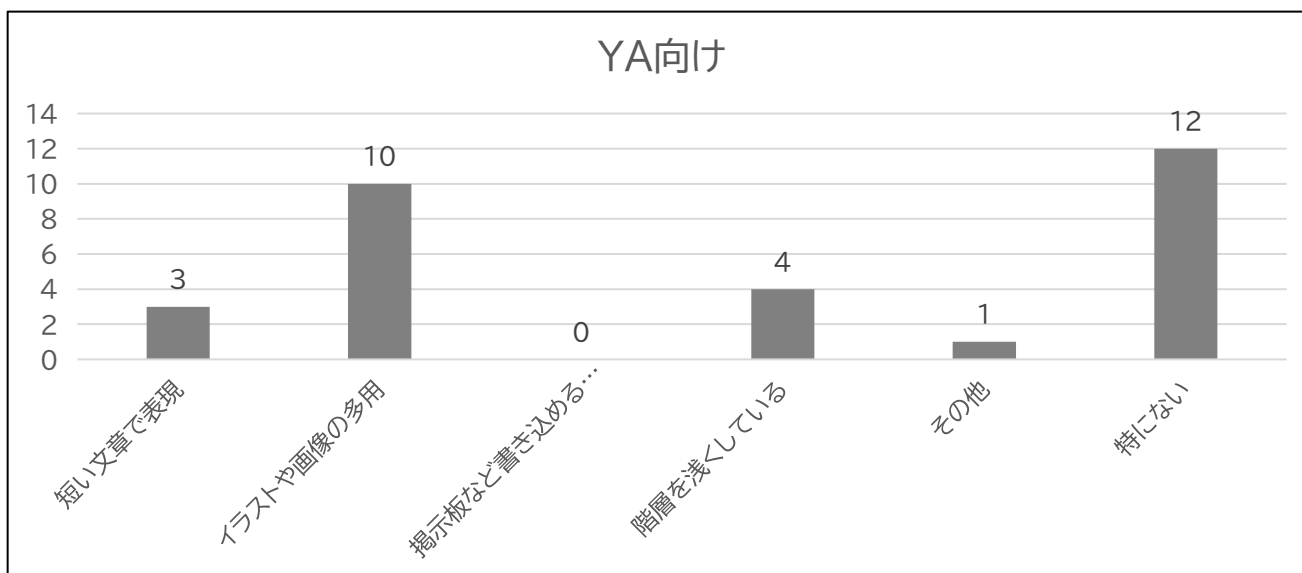
こども向け					
ひらがなのページ	イラストや画像の多用	こども用検索がある	階層を浅くしている	その他	特にない
22	15	19	2	1	10

その他：わかりやすい表現



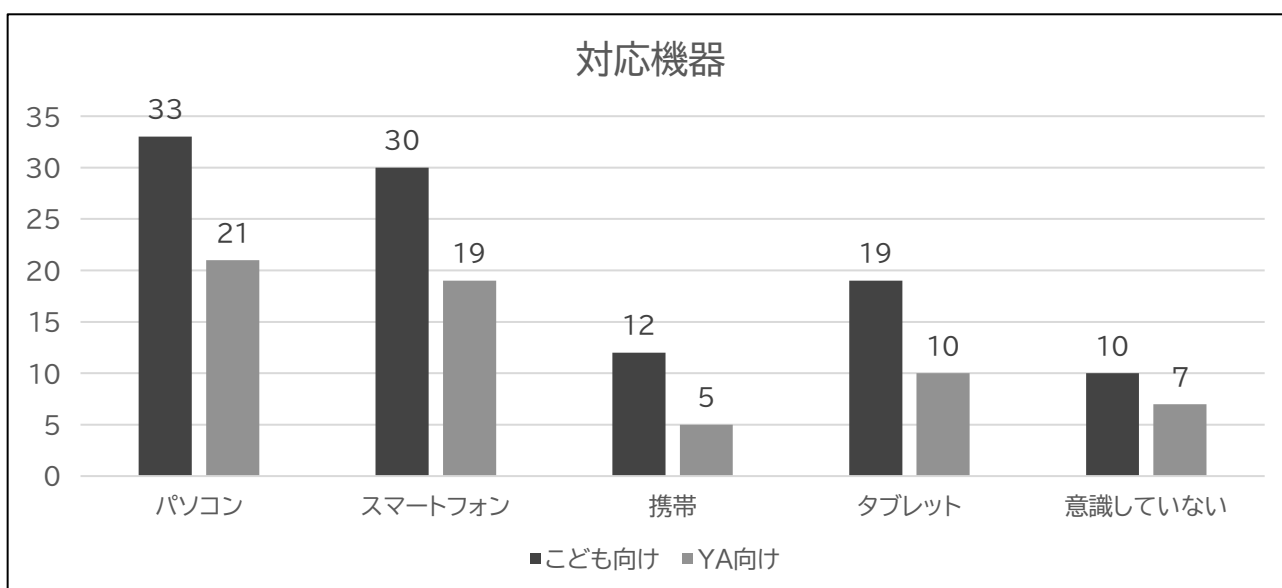
YA向け					
短い文章で表現	イラストや画像の多用	掲示板など書き込めるページがある	階層を浅くしている	その他	特にない
3	10	0	4	1	12

その他：同年代のおすすめ本紹介を掲載



問4-3. どの機器に対応していますか。【複数回答可】

	パソコン	スマートフォン	携帯	タブレット	意識していない
こども向け	33	30	12	19	10
YA向け	21	19	5	10	7



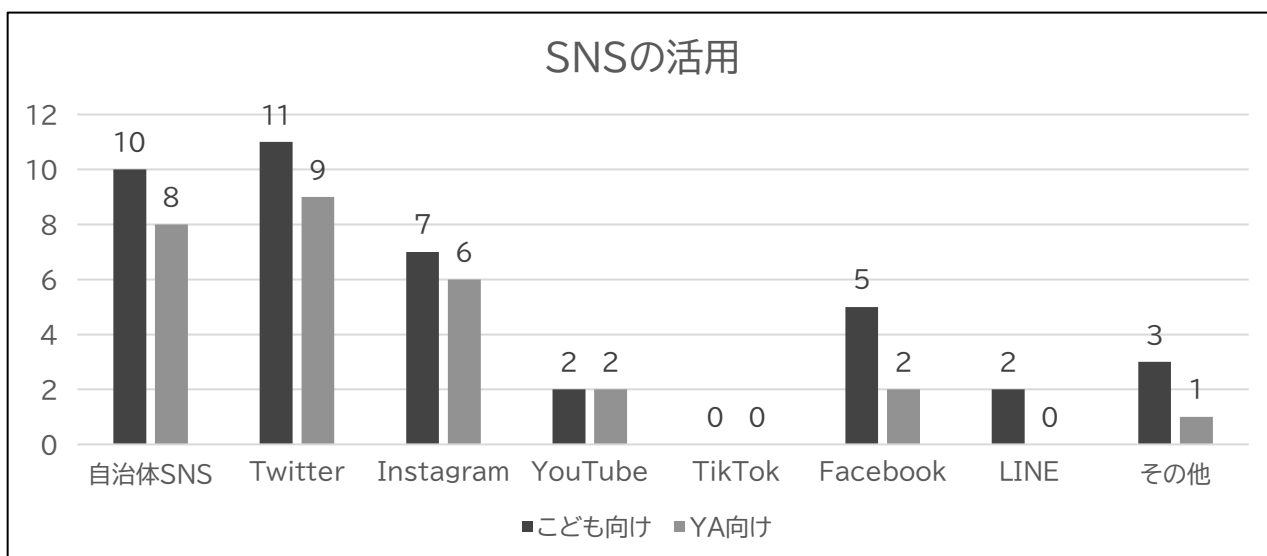
問5. SNSの活用について

問5-1. こども向けもしくはYA向けイベントの広報に使用しているものについて、それぞれお答えください。【複数回答可】

こども向け							
自治体SNS	Twitter	Instagram	YouTube	TikTok	Facebook	LINE	その他
10	11	7	2	0	5	2	3

その他：Note

SNSは使用していない



YA向け							
自治体SNS	Twitter	Instagram	YouTube	TikTok	Facebook	LINE	その他
8	9	6	2	0	2	0	1

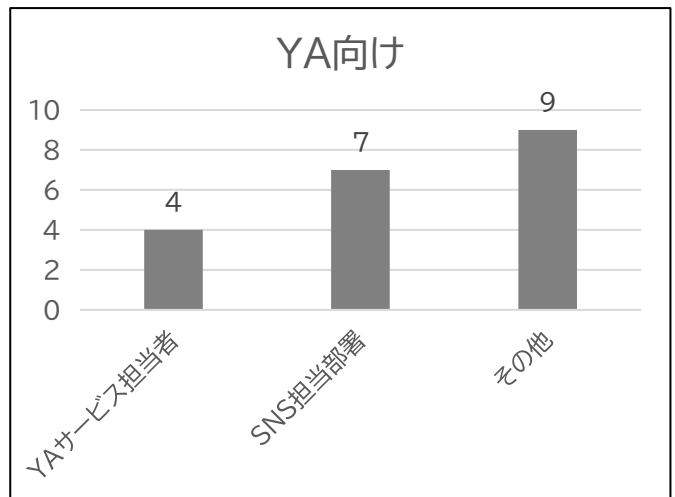
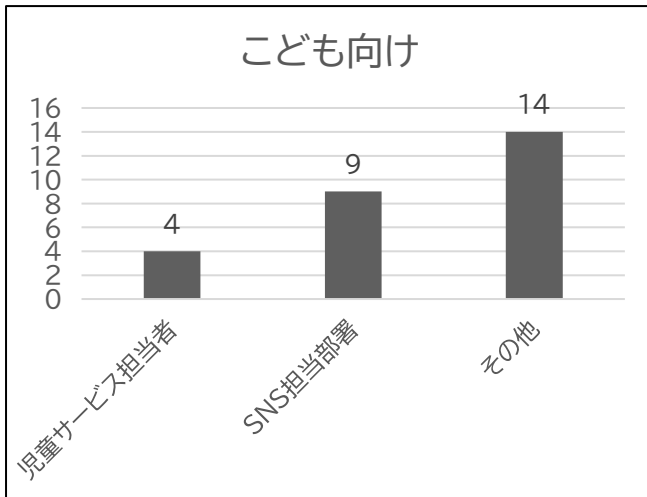
その他：SNSは使用していない

問5-2. SNSの発信担当について、それぞれお答えください。

こども向け		
児童サービス担当者	SNS担当部署	その他
4	9	14

その他：サービス企画担当（広報担当）、SNSの更新担当者、原稿作成は児童サービス担当・SNSへの発信は担当部署、図書館職員、その時々イベント等の担当者、自治体担当者、HP製作担当者

広報物全般の担当者、図書館のSNS担当者、住民提案協働事業という取組みの中で、図書館のSNSの発信を住民団体が担っている



YA向け		
YA サービス担当者	SNS 担当部署	その他
4	7	9

その他：サービス企画担当（広報担当）、原稿作成は児童サービス担当・SNS への発信は担当部署、図書館職員、その時々イベント等の担当者、自治体担当者、住民提案協働事業という取組みの中で、図書館の SNS の発信を住民団体が担っている

問6. 今後、広報として活用を考えている媒体、新しい手段等があれば教えてください。（自由記述）

例）SNS の活用以外に、学校連携強化のための手立てなど

- ・ Instagram 開設予定
- ・ 図書館 YouTube
- ・ TikTok
- ・ YouTube 開設
- ・ LINE 開設
- ・ 図書館所管の担当課で YouTube を開設しているので、そこでイベントなどの周知
- ・ 来年度に向けて、市内の小中学校にチラシおよびポスターの配布、学校司書連絡会でイベントや図書館見学の案内をする等、学校連携を強化していく予定
- ・ 小学校で配布する子ども向けの図書館だよりの発行（2023年4月より年4回発行予定）